

月 mon. 19:30-21:30

上杉満代

心体との会話

1/18、25、2/1、8、15、22、3/8、15



©TKamiyama

様々なダンスの基本技術を踏まえ、自分自身の存在のリアリティーを探り、動きのなかで生の喜びに出逢うワークショップを行います。新たな動きの体験を探り出逢うことを基盤として、自分自身の存在を明確に認識するために、手足や骨格、関節などを単なる物質・物体として凝視すること、立つこと・座ること・歩くことといった日常的な行いを見つめ直すこと、皮膚感覚から空間との相合を計る鍛錬をすること等を通して、即興ダンスに移行することを目指します。

うえすぎみつよ：舞踏家。クラシックバレエを学んだ後、1970年より舞踏家大野一雄に師事。1980年より舞踏ソロ作品『彼女』は日本、欧州、米国等、様々な地に招聘され高い評価を得る。1987年渡仏、カトリーヌ・ディヴェレ・ベルナルド・モンテラのダンスカンパニー：スタジオD・Mに参加（ヨーロッパ各地を巡演）。1990年帰国後、アヒルスタジオ主宰。大野一雄フェスティバル2004、2008に参加。舞踏ソロ作品『マダム・メランコリア』『マドモアゼル・メランコリア』『ペイビー・メランコリア』シリーズ公演として続行中。

火 tue. 19:30-21:30

野村 誠

ポスト・ワークショップ

1/19、26、2/2、9、16、23、3/2、9



アート・ワークショップに内在する問題点と可能性を、「老人ホーム・リミックス」(3月14日、BankARTにて開催)や現在進行中の「野村誠×木齋」、「門限ズ」など、具体的なプロジェクトを例にあげて進めます。日本のアートシーンでは、90年代頃から「ワークショップ」ブームが起こり、今は、越境して「コラボレーション」ブームが訪れています。多ジャンルの人が交わっていくと、アートの雑食化が進行し当たり前になります。そういう状況が現実になりつつあります。さて、その状況に何を仕掛けていきますか？

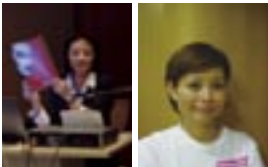
のむらまこと：作曲家。1968年生まれ。8歳より独学で作曲を始め、京都大学在学中に音楽活動を開始。ピアノ、アコーディオン、ガムラン、パイプオルガン等、様々な編成の曲が国内外にて演奏されている。また、「お湯の音楽会」や動物とのセッション等、概念にとらわれない活動は多方面から注目を集めている。第1回アサヒビール芸術賞、JCC ART AWARDSの現代音楽部門最優秀賞等多数受賞。著書に「即興演奏ってどうやるの」(あおぞら音楽社)等やCDに「せみ」、「しょうぎ交響曲の誕生」等がある。BankARTスクールへは2度目の登場。

水 wed. 19:30-21:30

内田真由美 + 児島やよい

アート・コーディネーターの仕事

2/3、10、17、24、3/3、10、17、24



展覧会やアートイベントを実施するには、きめ細やかな企画とコーディネーションが必要となります。「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」展(2008~10年全国巡回)、三菱一号館竣工記念写真展「一号館アルバム」ほか、2人が近年関わった展覧会の事例を中心に、キュレーター、コーディネーターとしての仕事について、具体的にお話します。

うちだまゆみ：三重大学教育学部美術科卒業。新聞社、出版社、ギャラリー勤務を経て、1994年よりフリーランスのアート・コーディネーター。横浜トリエンナーレ2001、第2回大地の芸術祭プレイベント「天空散華・中川幸夫」、「草間彌生 クサマトリックス」(森美術館)、「荒木経惟展」(江戸東京博物館)、「坂田栄一郎展」(丸の内エリア)などに携わる。

こじまやよい：慶応義塾大学文学部卒業。OL時代とナジョウ&アソシエイツ勤務を経て、2000年よりフリーランス・キュレーター、コーディネーター。横浜トリエンナーレ2001、メゾンエルメスフォーラムでの企画展、「草間彌生 クサマトリックス」(森美術館)などに携わり、ライターとして執筆活動も行う。慶応義塾大学、明治学院大学非常勤講師。

木 thu. 19:30-21:30

南後由和 + 藤村龍至

建築・社会学的リサーチの実践講座

1/28、2/4、11、18、25、3/4、11、18



かつて盛んだった診断→予測→提案型リサーチというロールモデルが失われて久しい。本講座ではまず、1960年代から現代までの先端的なリサーチの事例を学び、さらに横浜周辺の行政、企業、建築などを対象に、問題の発見から解決策の提示まで、一連の作業に取り組むことで、建築学と社会学を横断する現代的な知のあり方を考えたい。

なんごよしかず：社会学、都市・建築論。1979年大阪府生まれ。東京大学大学院情報学環助教。共著に『都市空間の地理学』(ミネルヴァ書房)、『路上のエスノグラフィ』(せりか書房)、『JA71号 リサーチの方法』(新建築社)などがある。

ふじむらりゅうじ：建築家。1976年東京生まれ。2000年東京工業大学工学部社会工学科卒業、ペルラーヘ・インスティテュート(オランダ)留学、2008年東京工業大学大学院建築学専攻博士課程単位取得退学。2005年藤村龍至建築設計事務所設立。

金 fri. 19:30-21:30

田中信太郎

手のひらサイズワークショップ vol.2

2/5、12、19、26、3/5、12、19、26



社会的な表現者を生んだ、ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズのメンバーのひとり、田中信太郎氏によるワークショップ形式の講座第2弾。前回に引き続き、美術の極小を手のひらサイズに集約するという作品制作を行う。毎回異なる作業を行い、制作を通じて身体の記憶を呼び起こしていく。

たなかしんたろう：東京都生まれ。1959年より読売アンデパンダン展に出品。60年「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」に参加。69年パリ・ビエンナーレ、71年サンパウロ・ビエンナーレ、72年ベニス・ビエンナーレ等、国際的に活躍。最近では、2000年第1回越後妻有アートトリエンナーレにおける「赤とんぼ」作品や、01年インド・トリエンナーレ、03年国立国際美術館での回顧展など、充実した活動が続いている。BankARTスクールは2007年度に引き続き、2度目の登場。

土 sat. 16:00-18:00

槻橋 修 + 馬場正尊

建築・メディアから学ぶ、プロジェクト発想法

1/30、2/6、13、20、27、3/13、20、27



建築や街を生み出すデザインの現場とメディアを生み出す編集の現場は、全く違うように見えて実はかなり似ています。日々の生活感覚・身体感覚からパブリックなプロジェクトをどうのようになしていくのか。その方法とコツについて、建築家でありメディア制作も行っている2人の講師がワークショップを通して楽しく解説します。

つきはしおさむ：建築家、「建築ノート」(誠文堂新光社)監修。1968年富山県生まれ。神戸大学大学院准教授。主な作品に「ステイブル・ハウス」、「JINS原宿店」など。2009年『ポーランド国立歴史博物館設計競技』佳作。主な編著『旅。建築の歩き方』(彰国社)などがある。

ばばまさたか：建築家、Open A代表。1968年佐賀県生まれ。東北芸術工科大学准教授。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2002年Open Aを設立。最近の作品に「勝ちどきTHE NATURAL SHOE STORE オフィス&ストック」、「房総の馬場家と連棟」、著書に「R the transformers〜都市をリサイクル〜」(R-book制作委員会)、「POST-OFFICE/ワークスペース改造計画」(TOTOU出版)など。

BankART school 番外編 19:30-21:30 ※受講料無料

「BankART スクール新書」編集ミーティング

第1期 1/13、27、2/10、24、3/10、24 各水曜

BankARTスクールは、2004年4月にスタートしてからこれまで、178講座を開講してきました。録音テープで2,848時間(見るのに1日8時間かけても約1年間かかる)がストックされたままです。これまでも何冊か出版化してきましたが、このたび総括的にスクール新書としての出版企画を立ち上げることになりました。専門家のゲストも交えながら、編集のフレームを議論、決定していきます。意欲ある方は是非ご参加下さい。

横浜市民と横浜で働く人のための現代美術講座 村田真編

1/12、26、2/9、23、3/9、23 各火曜

BankARTスクール校長、村田真による現代美術講座。以前おこなった「役人のための現代美術講座」や「古典に現代美術を読む」をベースに、広く、ゆるく、深く、市民のための勉強会を開講します。受講料は無料。無料だからといって手は抜きません。現代美術はまったく知らないけど何か気になる人、定年退職の人、今後美術を軸に何か企画を組んでみたい行政マンの方等、ぜひご参加下さい。

戦後美術運動体研究会

1/15、29、2/12、26、3/12、26 各金曜

日本には戦後、優れてオリジナルなアートの運動体が同時多発的に数々存在しました。具体、九州派、ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ、グループ〈位〉、GUN、THE PLAY等々。彼らの集団的な活動とエトスを現在の視線からたどりなおし、この混迷の時代の新しい活力の源泉にしたいと思います。随時、ゲストあり。水先案内には、この面で豊富な知見をもつ編集者・福住治夫氏があたります。なお、この研究会は、いずれBankARTでの全館使用の展覧会へとリレーされていく予定です。

BankARTschool 2009年度1-3月期 募集案内

BankARTスクールの概要

基本的に週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。講座時間は19:30~21:30(土曜日は16:00~18:00)です。場所は、基本的にBankART Studio NYKになります。

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankARTショップでの買い物5%割引、BankARTパブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

アシスタントの募集

BankARTスクールでは、講座の記録やサポートをお願いするアシスタントを募集しています。アシスタントの方は、記録担当の講座を無料で受講することができます。意欲のある方のご参加をお待ちしております。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込み)、はじめの方は入学金3,000円(税込み)も一緒にお支払いいただきます。入金を確認でき次第、手続き完了となります。また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。なお定員になり次第、申し込み受付を終了させていただきます。また、一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。

お申し込み:BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com
TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9 BankART Studio NYK